

学生へのメッセージ 「医の道」



No.17 令和4年5月2日(月) 2022-9号

発行責任者: 神戸総合医療専門学校・松江総合医療専門学校理事長、新須磨病院院長 澤田勝寛
isonare@ka2.so-net.ne.jp 隔週月曜発行 令和3年(2021年)9月13日創刊

◆コロナ関係

§ 感染状況

全国の感染者は4万人前後の高止まりとなっており、東京や大阪といった大都市は落ち着いてきていますが、地方都市で増加傾向にあります。

「緊急事態宣言」も「まん延防止等重点措置」も発令されていない3年ぶりのフリーな連休となりました。海外へ行く人で空港は賑わい、高速道路は渋滞が起こっています。感染に対する過剰反応がなくなり、実際重症化例も少なくなっており、ウイズコロナに慣れてきたように思います。

§ 講義と実習のこと

学生や教員に感染者がでると、実習に影響がでてきます。特に病院や施設実習は、先方に感染がひろまる可能性があるため、実習ができなくなります。

新須磨病院がある神戸は、松江の10倍くらいの新規感染者が毎日できています。私の母校である神戸大学医学部では、通常授業もリモートが多く、実習も十分にできない状況が続いています。実習をしても、午前と午後にわけ、学生が学内で昼食をとらないような工夫もしています。

学校と病院の違いは、学生には申し訳ない話ですが、講義は対面でなくてリモートという代替がきくので、少しでも危険を回避するためにリモートが増えます。診療は、一部リモートもありますが、基本が対面診療のため、感染防止を厳重にして診療をせざるを得ません。

実習も同様で、あえて感染の危険をおかしてまで実習することはないと判断するわけで、国の指針でも臨地実習のかわりに学内実習を認めています。

§ チョコレートで食中毒

コロナではありませんが、チョコレートが原因の食中毒が欧米11か国で151件確認されています。ベルギーで製造された「KINDER」ブランドのチョコのバターミルクからサルモネラ菌が検出されたそうです。幸い、日本での発症例はありません。

ウイルスも細菌もしたたかで手ごわい相手です。



◆新入生にみなさんへ

緊張の連続の4月だったと思います。まず、高校と違うのは1コマが90分授業で高校の倍です。いきなり専門用語が飛び交います。皆さんにとっては、チンプンカンプンの外国語を学ぶようなものでしょう。そして、解剖や生理はとっつきにくさに拍車をかけるかもしれません。でも、解剖・生理は、医学の基本中の基本です。病気を理解するうえで、欠かすことができません。そのうち慣れます。乗り越えられないほどの壁ではありません。

全力でサポートします。頑張りましょう。

◆サラリ 坂村真民

サラリと
生きてゆかん
雲のごとく
サラリと
忘れてゆかん
風のごとく
サラリと
流してゆかん
川のごとく



生きていることに感謝
シャワーを浴びられることに感謝
水が出ることに感謝
食事が三度食べられることに感謝
日本に来られたことに感謝

ネパールから来た介護研修生の言葉です。ようやく渡航制限が解除され来日し、5月から新須磨病院の関連施設の老健施設「いきいきの郷」に来ることになりました。

彼らは、日本に住む我々では想像できないような厳しい環境で生まれ育ってきています。「いきいきの郷」の事務長が、先日研修を受けている彼らに面談にいったときに、聞いた感謝の言葉です。

私たちが当たり前と思っている日常が、当たり前ではない国があるということです。夜安心して眠れることに感謝、停電しないことに感謝という研修生もいたそうです。

改めて、平和で豊かな日本に暮らせる事の有難さを感じることができました。